

名誉会員の推挙に寄せて



井岡 勉 新名誉会員
(同志社大学名誉教授)

(本学会役員歴)

16期監事

17期・18期・20期
以上 理事3期



今回、私ごとき者に名誉会員のご推挙を賜り、大変恐縮に存じますとともに、ご配意に深く感謝申し上げます。実際、学会に対して何ほどのこともなし得ていないわが身を省みて忸怩たる思いに駆られています。

本学会に入会したのは44年前の1968年、同年9月の第16回大会(北星学園大学)で地域組織化活動に関する口頭発表を行い、岡村重夫先生からご質問を頂いたことが印象に残っています。

地元の関西部会には親しみとアイデンティティを感じて参加していました。1997年、学会理事会の「地方部会活性化・学会化」の方針をうけ、関西部会に提起・承認を得て、4回の準備委員会を経て98年11月、関西社会福祉学会が関西部会と二枚看板でスタートしました。関西の福祉系大学、先生方の連帯力により結実したことです。同学会は今日も若手研究者のワークショップなどを含め、特色ある学会活動が展開されています。

1997年学会特別委員会「国際比較研究委員会」(阿部志郎委員長)に参加させて頂きました。12名の先生方による比較研究視点・方法、6か国比較検証の論考とともに、大学院生・若手研究者25名による内外文献レビュー45点、文献リスト548点が寄せられ、阿部志郎・井岡勉編『社会福祉の国際比較』(有斐閣、2000年)として刊行されました。私自身、社会福祉国際比較の研究枠組・手法を一から学ぶ好機会に恵まれたわけです。

本学会は一般社団法人として着実に整備されてきました。今後社会福祉研究者の拠り所として、充実・発展をとげられるよう祈念するとともに、とくに社会福祉問題や政策動向、現場の実態等に関し、人権の視点から社会的発信力を高められるよう期待してやみません。